

基本目標8 男女共同参画を進める教育と学習の推進

子どもたちが、性別に基づく役割を固定した考え方にしばられることのないよう、学校や地域、家庭において男女平等について学べる機会を提供します。また、働くことの意義と重要性を理解し、子ども一人ひとりの個性や能力が活かせる将来の人生設計が描けるようなキャリア教育を進めます。また、「男らしさ」を背景とした男性ゆへの生きづらさを解消し、自分らしい生き方が選択できるよう、啓発活動や学習機会の提供等を行います。

施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

19 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と将来を見通した自己形成支援

(47) 男女平等を推進する保育・教育の充実

124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します

(48) 性別にとらわれないキャリア教育の推進

128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます

(49) 様々な人との共生への取組の推進

130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します

20 男性にとっての男女共同参画の推進

(50) 男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します
134	市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等を前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します

(51) 男性のネットワーク支援

135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します
-----	---

(52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします
-----	---

21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

(53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します
140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します

(54) 女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします
144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します

(55) 子どもや若者のための学習や体験活動の推進

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します
146	若者の自立に向けての支援をします

(56) 生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します
149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します

施策の基本的方向16 子どもの頃からの男女平等への理解の促進と
将来を見通した自己形成支援

(具体的施策 47)男女平等を推進する保育・教育の充実

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
124	人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図るための保育や教育を充実します	公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組んだ。公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組んだ。	様々な遊びや活動を通して、一人ひとりに応じた総合的な指導を行いながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。LGBTやジェンダーの秘めている問題に対して、保育者、教諭がいち早く気づき、配慮していくことが課題となってきた。	継続	保育幼稚園総務課
		「茨木市学童保育指導員要領」をもとに、人権尊重を基盤とし、男女を区別することなく、個人を尊重した保育を行った。	日々の生活や遊びの中で、男女の区別なく、一人一人がお互いを尊重しながら力を合わせ、大切な仲間関係を深めるように努めた。	継続	学童保育課
		すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成し、推進を図った。	すべての市立小・中学校において人権教育年間指導計画を作成することで人権尊重を基盤にした男女平等観の形成を図ることができた。	継続	学校教育推進課
125	保育所(園)、幼稚園、学校等での固定的な性別役割分担意識の解消に努めます	公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組んだ。公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組んだ。 【再掲 施策番号124】	男女の区別なく、一人一人が大切な仲間であるということ、遊びを中心とした生活の中で、認識できるよう努めた。男女という意識よりも、一人一人を大事にする保育を目指していくことが今後の課題となっていく、性別にこだわらない保育の実践をすることが今後の課題となってきた。	継続	保育幼稚園総務課
		「茨木市学童保育指導員要領」をもとに、人権尊重を基盤とし、男女を区別することなく、個人を尊重した保育を行った。 【再掲 施策番号124】	日々の生活や遊びの中で、男女の区別なく、一人一人がお互いを尊重しながら力を合わせ、大切な仲間関係を深めるように努めた。	継続	学童保育課
		男女混合名簿や性別によらない色分け等、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図った。	男女混合名簿や性別によらない色分け等の取り組みにより、日々の活動における固定的性別役割分担意識の解消を図ることができた。	継続	学校教育推進課
126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	関係団体を対象としたスキルアップ研修において「人権・守秘義務（発達障害児の理解、こどもの虐待）」のテーマで開催をした。 〔開催〕令和2年9月3日、9月17日 令和3年1月15日	子育て支援関係者に対して、人権に関する研修受講の機会を提供できた。	継続	子育て支援課

126	男女平等についての理解を深めるため、保育・教育関係者に対する研修を充実します	<p>公立幼稚園・公立認定こども園において、教員及び市職員対象の人権研修に積極的に参加した。また、園内研修の充実も図った。保育所において、全保育職員対象の人権保育研修を実施し、市職員対象の人権研修を受講した。</p>	<p>公立幼稚園・公立認定こども園において、園内研修の実施や教員及び市職員対象の人権研修を受講し、理解を深めた。保育所において、保育所全職員対象の人権保育研修や市職員対象の人権研修を受講し、虐待が子どもの発達に及ぼす影響や保護者との関係が築きにくい場合の対応の仕方や支援方法についてより理解が深まった。今後、LGBTやジェンダーの研修を取り入れていき、職員の意識を変えていくことが課題となる。</p>	継続	保育幼稚園総務課
		<p>教職員に対して、人権研修を実施した。 人権教育校長研修会 〔実施日〕令和2年8月25日 〔対象〕小中学校校長 〔テーマ〕「セクシュアル・ハラスメントの防止について」 【再掲 施策番号112】</p>	<p>人権研修を行うことでジェンダー平等について理解を深めることができた。しかし、研修の内容を各校の教職員に伝達していくことが課題である。</p>	継続	学校教育推進課
		<p>人権意識・人権感覚を育む学級づくりに関する研修を実施し、指導力向上に努めた。 〔実施日〕令和2年6月23日 9月4日 11月24日 〔テーマ〕「安心」をテーマにした学習集団づくりについて 〔講師〕大阪多様性教育ネットワーク 沖本 和子 〔対象〕市立小・中学校教職員 〔参加者〕92人</p>	<p>人権意識や人権感覚についての理解また、それを育む学級づくりについて学ぶことができた。今後も継続して研修の充実を図る。</p>	継続	教育センター
127	男女平等の視点に配慮した教育相談を実施します	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図った。</p>	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図ることができた。</p>	継続	学校教育推進課
		<p>幼児・児童・生徒・保護者・教職員の教育に関する悩みについて、教育相談を実施した。 〔相談実施内容・件数・回数〕 ①電話教育相談 207件 243回 ②面接相談 104件 1,763回 ③言語教育相談 135件 757回 ④不登校相談 31件 462回 ⑤発達相談 914件 3,317回 ⑥巡回相談 45校に93回実施 ⑦特別教育相談 14回実施34ケース</p>	<p>対前年比で、件数は105.5%、回数は90.5%で、微減となった。充実した教育相談を実施できるよう、引き続き所内研修会等で相談員の資質向上を図る。</p>	継続	教育センター

(具体的施策 48)性別にとられないキャリア教育の推進					
	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
128	子どもたちが、社会人・職業人として自立していけるよう、年齢に応じたキャリア教育を推進します	主体的に活動する環境を整え、遊びを中心とした生活の中で、「幼児期に育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育みたい10の姿」を意識した保育・教育の推進を図った。	「幼児期の終わりまでに育みたい10の姿」をふまえて「幼児期に育みたい資質・能力」を意識した保育・教育を推進することで、小学校への学びの連続性について理解を深めることができた。更に小学校とのつながり意識して「学びに向かう力」を育てていくために非認知能力についても実践的な取り組み等を考えていく。自尊感情を今以上に高めていくことが、今後の課題となる。	継続	保育幼稚園総務課
		市内14中学校区で、キャリア教育全体計画を作成し、それにもとづきキャリア教育の推進を図った。	市内14中学校区で、キャリア教育全体計画を作成することで、年齢に応じたキャリア教育を推進することができた。	継続	学校教育推進課
129	中学校の職場体験学習を充実し、働くことへの理解を深めます	全中学校で職場体験学習を予定していたが、中止をした。	中学校で職場体験学習の実施をすることで働くことへの理解を深めることが有効であるため、施設の受け入れが可能であれば実施したい。	継続	学校教育推進課

(具体的施策 49)様々な人との共生への取組の推進					
	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
130	外国にルーツを持つ子どもたちが自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うとともに、子どもたちが豊かに共生する心を育む多文化共生の取組を推進します	幼児が異文化に触れる機会を取り入れ、日々の保育の中で指導内容や指導方法について工夫した。	日々の保育実践を工夫するとともに、必要に応じて幼児及びその保護者に対して、通訳者の派遣を実施することにより、友だち、家族、地域など社会とのつながりについて丁寧に伝えることができた。就学が近づいてくると、社会の情勢や日本以外の国に対しても意識が持てるように、保育の中の視野を広げていくことが今後の課題となる。	継続	保育幼稚園総務課
		各校で外国にルーツを持つ子どもたちを対象にワールド教室を実施した。	ワールド教室を実施することで外国にルーツを持つ子どもたちの自尊感情を高め、主体性を確立するための支援を行うことができた。	継続	学校教育推進課
131	多様な性のあり方への理解を深めるための啓発を推進します	公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組んだ。公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組んだ。 【再掲 施策番号124】	様々な遊びや活動を通して、一人一人を大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育・教育を推進することができた。今後も引き続き取り組みを継続していく。	継続	保育幼稚園総務課
		さまざまな人権学習の具体的な取組みのモデル案を示した「人権教育授業プラン集パートII」を教職員に配布し、人権課題の一つであるセクシャルマイノリティへの理解促進を図った。	「人権教育授業プラン集パートII」を活用することで多様な性のあり方への理解を深めることができた。	継続	学校教育推進課

施策の基本的方向20 男性にとっての男女共同参画の推進

(具体的施策 50)男性にとっての男女共同参画に関する啓発や学習機会の提供

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
132	男性にとっての男女共同参画の意義について理解を促進するための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	講座の開講により、男性の料理技能向上に寄与することができた。引き続き、生涯学習の取組を通じて、より多くの機会を提供できるように努める必要がある。	継続	文化振興課
		男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。 また、記念講演会は、オンライン配信講座としたところ、延べ約380回の再生となり、好評であった。今後も、オンラインを活用した啓発を実施する。	継続	人権・男女共生課
133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。 【再掲 施策番号30】	講座の開講により、男性の料理技能向上に寄与することができた。引き続き、生涯学習の取組を通じて、より多くの機会を提供できるように努める必要がある。	継続	文化振興課
		男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。 また、記念講演会は、オンライン配信講座としたところ、延べ約380回の再生となり、好評であった。今後も、オンラインを活用した啓発を実施する。	継続	人権・男女共生課
		出前講座を通して介護保険サービスに関する情報を提供した。 【再掲 施策番号30】	令和2年度は出前講座を2回実施し、参加者41人に対して介護保険サービスに関する情報提供をした。引き続き出前講座を通して介護保険サービスの啓発に努める。	継続	長寿介護課

133	男性が家事、育児、介護等、生活者としての能力をつけるための学習機会を提供します	<p>①妊娠中から出産・育児について、知識・技術を学ぶ両親教室（パパ&ママクラス）を実施した。</p> <p>②自宅でも妊娠中や出産後の生活、育児についての学習ができるよう、公式ホームページで動画や資料を公開した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、両親教室の参加人数を減らし、実施内容も沐浴指導のみとなったが、多くの医療機関で両親教室がなくなった影響もあり市民からの人気は高く、毎回キャンセル待ちとなった。沐浴動画は配信再生回数200回超であり、男性が育児参加するための学習機会が提供できたと考える。</p> <p>今後は感染症対策に配慮するとともに学習機会の確保を図るため、オンラインを活用した実施方法を検討する。また、新型コロナウイルス感染症の影響により人と人とのつながりが希薄化する中で、妊婦同士の交流のニーズが高まると考えられるため、オンラインを活用した交流の場の提供についても検討していきたい。</p>	継続	子育て支援課
		<p>つどいの広場等において、父親も参加できる学習機会を設ける活動を実施した。 【再掲 施策番号30】</p> <p>市内の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」をリモート（録画）実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>父親も参加しやすい土曜日などにイベントの企画をしたことで男性の子育て参加の促進をすることができた。コロナ禍ではあったが、男性の子育て参加の契機としたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生等と直接ふれあうことはできなかったが、親子の様子を録画し、事前に高校生からの質問を聞き、参加時に答えるなど、高校側の意向に沿った対応ができた。</p>	継続	子育て支援課
		<p>知って得する子育て講座の中でパパ向けメニューを開催した。 【再掲 施策番号29】</p> <p>自宅でも育児手技の学習ができるよう、沐浴についての動画を公式HPで公開した。</p>	<p>定員削減の中での実施であったが、参加された人は満足されていた。</p>	継続	子育て支援課
		<p>「家庭教育講座」・「家庭教育学級」を通じて、保護者（男女問わず）を対象に技能向上の学習機会を提供した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>家庭教育に関する学習の機会を提供できた。</p> <p>今後も、ICT活用や関係団体との連携等により、新しい生活様式を踏まえた適切な学習機会の提供に努める。</p>	継続	社会教育振興課
		<p>市又は市民で構成された団体からの要請に基づき、対話や交流を通じて保護者のあり方を学習する機会を提供する「親まなび講座」を実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>大阪府教育委員会作成の親学習教材を用いて、親まなびサポーターの進行のもと、保護者同士が対話することで、子育てについて考える機会となっている。</p> <p>引き続き、オンライン実施の検討を進めるとともに、出前講座としての周知や、公民館等での実施による受講対象者拡大に努める。</p>	継続	社会教育振興課
134	市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、男性中心の働き方等を前提とした労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについての啓発や情報提供を推進します	<p>広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行った。 【再掲 施策番号14】</p> <p>働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】</p>	<p>啓発活動やインセンティブの拡充等により、働きやすい職場づくり推進事業所について、新たに5事業所を認定し、認定事業所は延べ19事業所となった。</p> <p>広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、男性が家庭や地域活動、市民活動へ参画できるよう、労働慣行の見直しやワーク・ライフ・バランスについて、啓発や情報提供を行う。</p>	継続	商工労政課

(具体的施策 51) 男性のネットワーク支援

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
135	若者、子育て中の父親、定年前後の男性、介護を担う男性等のネットワークづくりを支援します	男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。 また、記念講演会は、オンライン配信講座としたところ、延べ約380回の再生となり、好評であった。今後も、オンラインを活用した啓発を実施する。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 52) 男性の男女共同参画に関する情報収集と発信

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
136	固定的な性別役割分担意識が男性にもたらす重圧や男性の心身の健康の問題等、男性に関する情報の収集及び発信をします	男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、どの講座も参加申込者が多く、受講後の参加者の満足度がほぼ100%であり、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。 また、記念講演会は、オンライン配信講座としたところ、延べ約380回の再生となり、好評であった。今後も、オンラインを活用した啓発を実施する。	継続	人権・男女共生課

施策の基本的方向21 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

(具体的施策 53) 生涯学習に関する情報提供と学習機会の提供

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します	ホームページ等において、「生涯学習情報誌」等の生涯学習情報の発信を行った。	ホームページや「生涯学習情報誌」等、様々な媒体を通して、情報提供を行うことができた。引き続き、「生涯学習情報誌」やホームページの活用に加え、SNS等の活用にも努める必要がある。	継続	文化振興課

137	生涯学習に関する情報を、様々な機会、媒体を通して提供します	<p>都市づくり、まちづくりの主体となる市民との連携・協働を推進した。インターネット等を通じて、分かりやすく使いやすい都市計画情報を提供した。まちづくりに関する意見交換を通じて人と人のつながりが増え、共感が生まれる「交流の場」を提供した。大学と連携し、学生がまちづくりへの理解を高め、地域とのつながりを生む場を提供した。住民による自主的なルールづくりの取組に対し、協議の場や勉強会等の開催、まちづくりの専門家の派遣など合意形成などについて支援した。</p> <p>【再掲 施策番号101】</p>	<p>自らの住むまちをより良くしていく活動である「まちづくり」については、行政など特定の主体だけが担うものではなく、そこで暮らす市民を中心とした様々な主体が（もちろん男女ともに手を取り合って）担っていくべきものである。そうした認識から、市民主体でのまちづくり活動の機運が高まるような支援を行ってきたところであり、具体的には、市民向けのまちづくり講座「いばらきまちづくりラボ」や、東芝工場跡地における今後のまちづくりについて考える「太田知恵の和」の開催、郊外部の住宅地における暮らしやすさの低下への予防的対応として、大阪大学と連携した「共創ラボ」の開催などが挙げられる。今後の方向性としては、機運を高める支援を継続・拡大していくことに加え、専門家派遣制度も活用しながら、機運が高まった後の具体的な活動への支援についても取組を強化していく。</p>	継続	都市政策課
138	ローズWAMや社会教育施設等において男女共同参画をテーマにした講座を充実します	<p>料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。</p> <p>【再掲 施策番号30】</p> <p>広く市民等を対象に、男女共同参画週間記念講演会や男女共同参画基礎講座など、男女共同参画に関する講座等を開催した。</p> <p>年間開催回数 114回 のべ2,230人参加</p> <p>「家庭教育講座」・「親まなび講座」等、保護者（男女問わず）を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。</p> <p>【再掲 施策番号30】</p> <p>乳幼児と保護者が一緒に参加できる読み聞かせ講座や、保護者向けの子どもの本の読書講座を実施した。</p> <p>〔実施回数〕3回、〔参加者〕126人</p>	<p>講座の開講により、男性の料理技能向上に寄与することができた。引き続き、生涯学習の取組を通じて、より多くの機会を提供できるように努める必要がある。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止及び施設の改修工事に伴う休館期間があったため、例年に比べて講座等開催回数が減少した一方、オンライン開催を取り入れるなど新たな取組も開始した。今後は、対面とオンラインの効果を検証して、様々な媒体を活用した講座を検討する。</p> <p>家庭教育に関する学習の機会を提供できた。今後も、ICT活用や関係団体との連携等により、新しい生活様式を踏まえた適切な学習機会の提供に努める。</p> <p>男女関係なく子育てに関わる大人が参加できる講座等を実施することができた。今後も男女共同参画の視点を持って、講座等を実施する必要がある。</p>	継続	文化振興課 人権・男女共生課 社会教育振興課 中央図書館
139	社会教育関係団体のリーダーに対して男女共同参画に関する研修を充実します	※新型コロナウイルス感染症蔓延のため実施せず		継続	社会教育振興課

140	様々な学習機会にだれもが参加しやすいように、一時保育の実施や開催日時・場所等について工夫します。 また、子育て世代が講演会や審議会等へ参加できるように、関係課からの依頼により保育ボランティア等を派遣して一時的に子どもを預かる出前型一時保育を実施します	出前型一時保育を実施した。 〔実施事業名〕出前型一時保育 〔託児担当員派遣〕375件 〔一時保育〕705人	新型コロナウイルス感染症の影響で一時保育を伴うイベントが減少し、結果、派遣件数も減少したが、派遣依頼に対しては十分対応できた。 昨年度に引き続き、新たに7名の託児担当員に子育て支援員の資格を取得させた。	継続	子育て支援課
141	ローズWAM等を活用して、女性の芸術や文化、ものづくり等の表現活動を支援します	多様な主体による生涯学習の機会を提供し、生涯学習を体験する機会を提供した。	多様な主体による生涯学習や体験の機会を提供することにより、表現活動の支援を行うことができた。引き続き、生涯学習センター主催事業・登録団体による講座開催、舞台発表や作品展示の機会を提供し、来場者の生涯学習への参加・参画するきっかけ作りを提供する必要がある。	継続	文化振興課
		地域で活動するサークル等に、活動の成果を発表する機会を提供した。 〔実施事業名〕たそがれコンサート 〔実施日〕8月、11月、12月、1月、3月 〔参加〕計157人、8団体出演 〔内容〕ゴスペル、楽器演奏 他	毎年2月に開催しているローズWAMまつりについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 たそがれコンサートについては、感染拡大防止に配慮しつつ、開催回数を減らして開催した。今後も、新たな参加者を募りつつ開催していきたい。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 54) 女性のチャレンジに関する情報提供と講座の開催

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
142	セミナーやイベントの企画・運営等の実践的な活動を通して、女性のエンパワーメント支援をします	女性のチャレンジを応援するため、就職応援セミナーを開催した。 〔実施日〕令和3年2月8日、7日 〔参加者〕8人、7人	オンラインでの講座としたところ、満足度の高い講座となった。申込者が少ない状況にあるので、受講者のニーズに合った内容を検討するとともに、相談と連携した内容とするなどの工夫が必要である。	継続	人権・男女共生課
143	様々なチャレンジに関する情報を収集し、多様な媒体を通じて情報提供をします	ローズWAMにおいて、男女共同参画に関する情報の収集、活用、提供を行った。 【再掲 施策番号121】	図書等の貸出件数については、コロナでの休館に伴い減少している。 時代のニーズに合わせてSNS等さまざまな媒体を通じた情報の発信を検討する必要がある。	継続	人権・男女共生課
		広報誌・ホームページ等を活用し、職業能力開発講座等、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行った。	広報誌・ホームページ等を活用し、さまざまなチャレンジに関する情報提供を行う。	継続	商工労政課
144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します	女性のチャレンジを応援するため、就職応援セミナーを開催した。 【再掲 施策番号142】	オンラインでの講座としたところ、満足度の高い講座となった。申込者が少ない状況にあるので、受講者のニーズに合った内容を検討するとともに、相談と連携した内容とするなどの工夫が必要である。	継続	人権・男女共生課

144	働く女性のための講座や、再就職を希望する女性のための講座等を開催します	実践型勤労者スキルアップセミナー 〔実施日〕 令和2年9月2日 〔参加者〕 20人 〔テーマ〕 新入社員のための基礎能力向上セミナー 〔実施日〕 令和3年3月26日 〔参加者〕 28人 〔テーマ〕 職場のコミュニケーションに生かす“臨床心理学”	勤労者向けの講座や就労支援のための講座を開催。 子育て世代向けの就労支援フェアを実施。 女性向け起業セミナーを実施。	継続	商工労政課
		職業能力開発講座 【再掲 施策番号75】		継続	商工労政課
		子育て世代向け就労支援フェア 〔実施日〕 令和2年8月27日 〔参加者〕 31人 〔内容〕 就労相談、福祉のお仕事相談、起業相談、子どもの預り相談及び情報提供コーナー、「働き方」を考える上で知っておきたい「お金の話」セミナー		継続	商工労政課
		女性向け起業セミナー 【再掲 施策番号18】		継続	商工労政課

(具体的施策 55) 子どもや若者のための学習や体験活動の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、キッズスポーツデーは中止。	感染症拡大防止対策を講じながら、実施する。 引き続き、参加しづらい地区の参加者を増やすため、開催場所の増加等を検討する。	継続	スポーツ推進課
		市民スポーツフェスティバルを実施した。 〔実施日〕 令和2年11月23日 〔対象者〕 市内在住・在勤・在学の者 〔参加者数〕 207人 〔実施場所〕 市民体育館、東市民体育館、南市民体育館	種目の削減等、感染症拡大防止対策を講じながら実施した。 今後は感染症拡大防止対策を講じながら、種目を増やすとともに、体験コーナーの充実を図る。	継続	スポーツ推進課
		男女共同参画について学ぶ機会の提供として、リコチャレ in ローズWAMを開催した。 〔実施日〕 ①令和2年11月28日 ②12月19日 ③令和3年1月11日 〔内容〕 ①”飛ぶ”をカガクする ②ロケットって？ ③チャレンジ！宇宙飛行士 〔参加人数〕 ①13人 ②15人 ③13人	理系女子（リケジョ）の育成のため、将来の進路選択において、性別にとらわれない決定ができるよう、リケジョを意識した講座を開催した。申込・満足度ともに高い講座であった。今後も内容を精査して実施したい。	継続	人権・男女共生課
		ユースプラザ事業において、園芸、調理実習、各種スポーツなどの社会体験を、男女の区別なく実施した。 〔開催回数〕 196回 〔のべ参加人数〕 670名	男女を区別することなく、様々な取組を実施することで、利用者に多様な機会を提供することができた。今後も、男女の区別なく社会体験を推進する。	継続	こども政策課

145	子どもたちが学習や体験活動を通して男女平等や男女共同参画について学べる機会を充実します	市内の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」をリモート(録画)実施した。 【再掲 施策番号30】	新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生等と直接ふれあうことはできなかったが、親子の様子を録画し、事前に高校生からの質問を聞き、参加時に答えるなど、高校側の意向に沿った対応ができた。	継続	子育て支援課
		公立幼稚園・公立認定こども園において、人権教育を推進するにあたって茨木市立幼稚園教育課程基準に位置づけるとともに、茨木市・大阪府教育委員会の教材集や事例集等を活用しながら日々の保育の中で取り組んだ。公立保育所において、「茨木市人権保育基本方針」・「茨木市人権保育カリキュラム」や保育所保育指針に基づき、日々の保育の中で取り組んだ。 【再掲 施策番号124】	様々な遊びや活動を通して、一人一人を大切にしながら、幼児同士が温かい人間関係を結んでいけるような仲間づくりに努めた。また、互いの良さや違いに気づき、認め合えるような保育・教育に努めた。今後も継続していくことが大事であり、若い職員にも伝えていくことが今後の課題である。	継続	保育幼稚園総務課
		新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、9月迄は子どもセミナーの実施は出来なかったが、10月以降は感染拡大の予防に努めながら実施した。 〔実施事業名〕 ①子どもセミナー ②青少年野外活動センタープチ体験！キャンパス教室 〔実施回数・参加者〕 ①24回/313人 ②1事業/675人	新型コロナウイルス感染拡大の予防に努めながら、子どもセミナー等、子どもの学習や体験活動を支援する事業を実施したことで、様々な体験の場を提供することができた。今後も実施内容・テーマを検討しながら開催する必要がある。青少年野外活動センターでは、感染症対策を講じながら、家族単位での体験活動の場を提供した。	継続	社会教育振興課
		職場体験学習や野外体験活動は、コロナウイルス感染防止のため実施できなかったが、授業等で内容を学習した。	授業等を通じてジェンダー平等や男女共同参画について学ぶことができた。	継続	学校教育推進課
146	若者の自立に向けての支援をします	子ども・若者を早期に支援し、早期困難解消をめざすとともに、支援する側・される側の負担軽減を図るため、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、各々の専門性を有する支援機関が必要に応じて連携し包括的に支援した。 また、研修を開催し、支援ノウハウや情報共有の機会を提供した。 【再掲 施策番号92】	評価としては、令和元年度から実施しているひきこもり部会を福祉分野だけでなく、教育や就労等分野ごとに開催したことで、多角的な支援の在り方についてより具体的な方法が検討できた。また、教育と福祉の各施策の現状と課題を共有し、生きづらさの早期解消と中学校在学中及び卒業後の支援に向けて取り組める方策を検討・実施するため、教育・福祉連携会議を実施していたが、改めて実施要領を定めることで、個々のケースに対する支援策の検討が可能になった。 課題としては、若者から親への家庭内暴力や夜間の緊急相談体制など、現状の相談支援機関では対応できないケースがあるため、市だけでなく府や国の資源も含めて公的資源を洗い出し、市民や支援者に周知や情報共有を行い、その上で対応できる機関がない場合は、相談支援体制の連携や構築を検討する。	継続	こども政策課

146	若者の自立に向けての支援をします	<p>生きづらさを抱える子ども・若者の状態改善を図るため、茨木市子ども・若者自立支援センター「くろす」において、ひきこもり・ニート・不登校等の子ども・若者とその保護者の個別専門支援を実施した。また子ども・若者支援地域協議会の指定支援機関として、子ども・若者支援の主導的役割を担った。 (委託先)社会福祉法人ぼんがぼん 【再掲 施策番号92】</p>	<p>・茨木市子ども・若者自立支援センター「くろす」を利用することで本人の状態が改善された率が昨年度と比べ上昇していることから、子ども・若者の状態改善を図ることができている。 ・「ひきこもり支援ガイドブック」の内容に基づき、当事者の状態や状況に応じて支援の方向性を判別する分析シートを作成し、支援の現場で共有できた。 課題としては、支援を要する子ども・若者の早期困難解消を目指すため、ユースプラザスタッフや保護者、学校教員等に子ども・若者との関わり方など支援力の向上を図る必要がある。</p>	継続	こども政策課
		<p>貧困の連鎖を解消するため、学習会を市内5ブロック6か所で開催した。また、学習・生活支援員が家庭訪問を行い、家庭の生活状況や保護者と本人の事業利用意向を確認した上で、学習会に誘導した。保護者の生活相談も受け、必要な支援につなげた。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>児童扶養手当現況届時や卒業間近の小学生を対象に本事業を周知するなど、必要な生徒に支援が広がるように事業周知方法を拡充したが、利用者がなかなか増えない。支援が必要な家庭に直接的な情報提供と手続きの支援を行うため、家庭訪問を例年より早めて、早期支援につなげる。</p>	継続	こども政策課
		<p>目的としては、子ども・若者が地域で孤立することのないよう人とつながる場を創るとともに、関係機関等と連携して支援することで、子ども・若者の生きづらさの早期解消を図る。 〔概要〕社会経験や相談ができる居場所「ユースプラザ」5か所において、子ども・若者支援に関わっている団体・組織と連携しながら取り組む。また、課題が複合的で支援困難なケースについては、子ども・若者支援地域協議会で早期支援・早期困難解消に向けて取り組む。 【再掲 施策番号92】</p>	<p>評価としては、オンラインを活用したふれあい・交流サロンを実施することで、コロナ禍であっても生きづらさを抱えた子ども・若者とつながることができた。また、茨木ひきこもり女子会を開催し、ひきこもり状態である女性を孤立させないための居場所や相談場所を周知することができた。 課題としては、ユースプラザにおいて、生きづらさを抱える子ども・若者の状態改善が進むよう、相談支援機能を強化する必要があるため、今後再度プロポーザルを実施するにあたり、仕様書において更に充実した相談支援を設定する。また、ユースプラザの支援員が子ども・若者支援地域協議会の支援者向け研修に参加し、支援力の向上を図る。</p>	継続	こども政策課
		<p>ハローワークや茨木商工会議所と連携し、就職サポート事業として、仕事なんでも相談、合同就職面接会等の就労支援を実施した。 【再掲 施策番号75】</p>	<p>ハローワークや茨木商工会議所と連携し、合同就職面接会など就労支援を実施する。福祉総合相談課と連携し、ケースに応じた支援を行う。</p>	継続	商工労政課

(具体的施策 56) 生きる力を育む家庭での男女共同参画の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
147	男女共同参画の視点に配慮した家庭教育学級の取組を推進します	児童の保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの育成に必要な知識と技術について学習するための学級を委託により開設した。 【再掲 施策番号30】	保護者がつながり、ともに学ぶ場として、親学習、人権の尊重、子どもの心とからだの健康等をテーマとした学習会や交流会を、各学級が自主的に企画し実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、開設学級数は減少し、延べ参加人数は大幅に減少したが、オンライン活用等コロナ禍でも可能な手法を一部取り入れ、活動を継続することができた。 引き続きコロナ禍での新しい生活様式を踏まえるとともに、核家族化、共働き世帯の増加等の社会情勢の変化に応じた活動となるよう支援する必要がある。	継続	社会教育振興課
148	家庭教育学級指導者に対して男女共同参画に関する情報提供や研修の機会を充実します	※新型コロナウイルス感染症蔓延のため実施せず		継続	社会教育振興課
149	男女共同参画の視点に配慮した家庭での教育の推進ができるように子育て中の男女への学習機会を確保します	地域子育て支援センターやつどいの広場において、子育て講座を実施する。	コロナ禍での実施となったが、多様なニーズに合わせた様々な子育てに関する講座を実施し、子育て家庭へ学習機会を提供することができた。	継続	子育て支援課
		知って得する子育て講座の中でパパ向けメニューを開催した。 【再掲 施策番号29】	定員削減の中での実施であったが、参加された人は満足されていた。	継続	子育て支援課
		「家庭教育講座」・「親まなび講座」等、保護者（男女問わず）を対象に家庭での子育てや教育に関する講座を実施した。 【再掲 施策番号30】	家庭教育に関する学習の機会を提供できた。 今後も、ICT活用や関係団体との連携等により、新しい生活様式を踏まえた適切な学習機会の提供に努める。	継続	社会教育振興課
		※新型コロナウイルス感染症蔓延のため、予定していた研修会を実施せず 【再掲 施策番号139】		継続	社会教育振興課